

故・小泉秀雄先生の野帳 (11)

横内 文人 *

The field books of the late Mr.Hideo Koidzumi(11)

Fumito Yokouchi

No.26 1923 年度 (大正 12 年度)

(註: このノートは縦書きである)

ミヤマミナグサー爺ヶ岳大冷沢海拔 1500 m の
辺り、之より山を登り始める所、上より流下せるも
のならん。

タテヤマキンバイー爺ヶ岳、鹿島根。

下川頼人君採集 (大正 10、11、12 年度)

爺ヶ岳。ミヤマハタザオ、ホツツジ、キンコウカ、
ミヤマオトコヨモギ、トウヤクリンドウ、ミヤマコ
ゴメグサ、ヒメクワガタ、タカネミミナグサ、ミヤ
マアワガエリ、ミヤマリンドウ、ミヤマハンノキ、
クロマメノキ、イワニガナ、ミヤマイ、ヒメカワズ
スゲ、リシリカニツリ、ウシノケグサ、ヒロハノコ
メススキ、ヤマヌカボ、テガタチドリ、ミヤマヌカボ、
ニガナ、シナノナデシコ、ヨツバシオガマ、オオヒョ
ウタンボク、ミソガワソウ、ハクサンフウロ、ムカ
ゴトラノオ、ヤハズハンノキ、ゴヨウイチゴ、カラ
イトソウ、ハクサンチドリ、ハクサンスゲ、イワス
ゲ、ヤマカモジグサ、チシマニンジン、ヒメアカバ
ナ、ウサギギク、シナノキンバイ、ハクサンボウフ
ウ、キバナシャクナゲ、タカネスギカズラ、ミヤマ
クワガタ、タカネニガナ、ハナヒリノキ、ミヤマハ
ナヒリノキ、コバイケイソウ、ミヤマコウボウ、イ
トキンスゲ。

岩小屋沢岳。ツマトリソウ、タカネダイモンジソ
ウ。

針ノ木岳。イワベンケイ、シコタンソウ、タカネ
シオガマ、ミヤマウイキョウ、ミヤマムラサキ、イ
ワヒゲ、ウラジロキンバイ、イワギキョウ、ミヤマ
オダマキ、イワオウギ。

小スバリ、大スバリ岳。タカネアオヤギ、シンパ
ク、チシマギキョウ、オヤマソバ、ウメバチソウ。

布引岳、鹿島槍ヶ岳。ヒメミヤマナデシコ、タカ
ネウラジロイタドリ、トウヤクリンドウ、オヤマソ

バ、タテヤマキンバイ、タカネウスノキ、タイツリ
オウギ、タカネイバラ、アオジクスノキ、タカネア
オヤギソウ、ノウゴイチゴ、チシマギキョウ、エゾ
シオガマ、ミヤマチドリ、コトンボソウ (ホソバキ
ソチドリ)、ミヤマコゴメグサ、ミヤマホツツジ、
オオヒョウタンボク、ミヤマゼンゴ、キジムシロ、
ハクサンスゲ、ヤチスゲ、オオバタケシマラン、ク
ロツリバナ、イブキゼリ、イトキンスゲ、ミヤマヤ
ナギ、クモマスズメノヒエ、ミヤマキンバイ、ミヤ
マタネツケバナ、コメススキ、ミヤマクロボシ。

蓮華岳。イワツメクサ、タカネツメクサ、タカネ
ヒカゲノカズラ、ムシトリスミレ、タカネスミレ、
チングルマ、アオノツガザクラ、ミネズオウ、コマ
クサ、イワハタザオ、ミヤマキンバイ、ヒメクワガ
タ、ハクサンボウフウ、ヒメスゲ、イワベンケイソ
ウ、ウラジロナナカマド、チャボゼキショウ、ミヤ
マキンボウゲ、タカネスギカズラ。

籠川入り。テガタチドリ、オオバタネツケバナ、
オオバキスミレ、イワシモツケ、イワツメクサ、ショ
ウキラン、ミヤマカラマツ、レンブクソウ、ムシカ
リ、タチカメバソウ、イワハタザオ、シラネアオイ、
ミヤマハタザオ、ナルコユリ。

爺ヶ岳の前山 (布滝、源汲との間)。ヌカボ、オ
オヤマレンゲ、ウラジロアザミ、イワガネゼンマイ、
ミクリゼキショウ、カライトソウ、フタバラン、コ
トンボソウ、オオコメツツジ、コイチヨウラン、シ
ロバナニガナ、ミヤマフタバラン、タカネコウボウ
(六百岳中腹)。

鹿島槍ヶ岳。ツヤナシイノデ、オオバショリマ、
ヒメノガリヤス、イワガリヤス。

白沢天狗岳 (爺ヶ岳の前山)。ヒゲノガリヤス。

爺ヶ岳頂。チシマザサ、オオバショリマ、ノガリ
ヤス、シロウマスゲ、ミヤマクロボシソウ、ミヤマ
ハタザオ、コメススキ、ショウジョウスゲ (ミヤマ)、
ウシノケグサ、ハクサンイチゴツナギ。

木曽駒ヶ岳。ミヤマノガリヤス、ヤマアジサイ、
フジスミレ、コタヌキラン。

有明山。タカネコウボウ (下方にて)、ミヤマカ

* 横内文人 〒399-7402 長野県松本市会田 110

ンスゲ、オオカワズスゲ、ミヤマヌカボ、タカネマ
スクサ、ヌカボシソウ、イワガリヤス、ナガジラミ
(ヤブニンジン)。

白沢天狗岳お花畑(爺ヶ岳の前山)。2000～
2800 m位。針葉喬木帯中に点在するもの(Relic
flora?)。キンコウカ、ヨツバシオガマ、シロバナ
ニガナ、モウセンゴケ、イワカガミ、ヤマソテツ、
コメツガ、クロベ、ハイマツ、イワオトギリ(ミヤ
マ?)、イワノガリヤス、ムシカリ、ネコシデ、コ
シアブラ、ミヤマハンノキ、ツガザクラ、オサシダ、
コバイケイソウ、ヤマブキシヨウマ、オガラバナ、
ダケカンバ、ネマガリダケ、ツマトリソウ、ヒメタ
ケシマラン、アスヒカズラ、ミツバオウレン、ゴゼ
ンタチバナ、ツリガネニンジン、コメススキ、アカ
ミノイヌツゲ、ヒカゲノカズラ、コトンボソウ、ショ
ウジョウスゲ、ヒゲノガリヤス、オオバショリマ、
ヒメイチゲ、アキノキリンソウ、イワナシ、アカモノ、
コイチヨウラン、シノブカグマ、クロウスゴ、エゾ
ノショウジョウバカマ、ヤハズヒゴタイ、カライト
ソウ、ハクサンボウフウ、マイヅルソウ、オオコメ
ツツジ、ベニバナイチゴ、シラベ。

8月13日より。大町前6時半発(自動車)。下
川頼人君、人夫4名(勝野玉作、北沢清志、佐藤、
横川)。

神城村字飯田(對山館支店)発。クララ、ヨメナ、
ノカンゾウ、コウゾリナ、アレチノギク、ツユクサ、
タチヤナギ、フウロソウ、メヒシバ、オオイヌタデ、
カラマツソウ、アカツメクサ、ヨモギ、キツネノボ
タン、ドジョウツカミ、ミゾソバ、ヤブマメ、キン
ミズヒキ、カゼクサ、タンポポ、イタドリ、スズメ
ノヒエ、スギナ、イヌタデ、イノコヅチ、カラスノ
ゴマ、ヤブジラミ、カモジグサ、アカソ、エビラフジ、
クルマバナ、ショリマ、ウマノミツバ、カナムグラ、
アカザ、ノアザミ、キツネガヤ、ギシギシ、ヤマゲ
ワ、コウヤワラビ、ワレモコウ、ミズギボウシ、チ
ダケサシ、ミヤコグサ、シロトダシバ、タニセリモ
ドキ、ヒルガオ、ウツボグサ、コブニレ(アキニレ
の var.)、カヤツリグサ、ノブドウ、アオツツラフ
ジ、オオセンキュウ、ヒロハクサフジ、ホタルサイ
コ、ヤハズハンノキ、コブシ、ズミ、ウシノシッペ
イ、ツルウメモドキ、ヒョウタンボク、ゴマギ、ク
マヤナギ、マツムシソウ、イワシモツケ、ネコヤナ
ギ、ススキ、イヌコリヤナギ、ボタンヅル、シロバ
ナミズギボウシ、ノイバラ、チャンパギク、ノチド
メ、キキョウ、オミナエシ、イヌビエ、トラノオ、

メドハギ、ヌスビトハギ、フジ、ナワシロイチゴ、
カワラサイコ、ヤマノイモ、コオニユリ、ヘクソカ
ズラ、ミズナラ、クサボタン、ヤシャブシ、アキグ
ミ?、コマツナギ、カワラマツバ、カセンソウ、サ
ンキライ(サルトリイバラ)、ニシキギ、クロツバラ、
ヒメイズイ、レンゲツツジ、ミツバアケビ、ヤマゲ
ワ、エゾヤマザクラ?、ハンノキ、アカマツ、サイ
コクバラ、フタバハギ、カワラハハコ、ホタルブク
ロ、ダンコウバイ、トコロ、ミヤマママコナ、オオ
イタドリ、クガイソウ、ミヤマシキミ、ホツツジ、
イタヤメイゲツ、マンサク、ヤマウルシ、ナルコユ
リ、シロバナホタルブクロ、イヌツゲ、イカリソウ、
ニシキギ、コマユミ、コバノトネリコ、イタヤ、オ
トコエシ、ミヤマアブラススキ。

△ 平川の河原にて申食す。ドクウツギ、キキョ
ウ、ネナシカズラ、コンギク、ミヤマコゴメグサ、
トダシバ、コオニユリ、チゴユリ、ミヤマコゴメグ
サ、イブキジャコウソウ、タチツボスミレ。

△ 出発。クサボタン、アキカラマツ、マンサク、
タニセリモドキ、イヌガヤ、カワラサイコ、アマド
コロ、イブキボウフウ、クガイソウ、ツノハシバミ、
ヤマボクチ、ミヤマアブラススキ、オオイタドリ、
カワヤナギ、ミヤマナデシコ。

△ 平河を渡る。リョウブ、ウシコロシ、ツリガ
ネニンジン、ギボウシ、クマザサ、オケラ、カセン
ソウ、ノテンツキ(常念下と同じ)、オトギリソウ、
クマヤナギ、ヤマナラシ、ウツボグサ、シロバナギ
ボウシ、クジャクシダ、アヤメ、リンドウ、ニガナ、
ハクサンサイコ、メハジキ、ノウルシ、イワシモツ
ケ、シシウド、ヤマブドウ、イヌドクサ。

△ 山にかかる。トシマガヤ、アイバソウ、チゴ
ザサ、イ、カワズスゲ、クマザサ、シナノナデシコ、
ニガイチゴ、クロバナヒキオコシ、オトギリソウ、
ゼンマイ、オニアザミ、エノキ、イブキジャコウソ
ウ、シロバナギボウシ、コナラ、タテヤマウツボグサ、
タニウツギ、リョウブ、オオシナノオトギリ、ヤマ
トウキ、アカマツ、コバノトネリコ、ヒヨドリバナ、
ヨツバヒヨドリ、キンコウカ、トウキ、モウセンゴケ、
ヤマボクチ、シモツケソウ、ヤマツツジ、ミヤマコ
ゴメグサ、ノギラン、ショウジョウバカマ、ワレモ
コウ、ヒメアザミ?、ヒメハギ、パッコヤナギ、イ
ヌツゲ、トリアシショウマ、ハナヒリノキ、クロモ
ジ、ヒナユズリハ、アズキナシ、ノアザミ(ヒメー
もあり、佐の坂)、ニシキウツギ、ニガナ、トガク
シトウダイ、コンギク、アリノトウグサ、オオコメ
ツツジ、ハギ、オサシダ、ヤマシロギク、ママコナ、

ノギラン、エゾノコリンゴ? (□黒)、ヤマブキショウマ、ツリガネツツジ。

△ この辺、蛇紋岩多し。ワレモコウ、オオシナノオトギリ、シナノナデシコ多し。イトシモツケ多い。ミズナラ、コバノトネリコ、オオハナヒリノキ(果実有毛)、ミヤマハナヒリノキ(同無毛)、シロバレンシバ。

平川を下□す。ミヤマアブラススキ、ミヤママコナ、アスヒカズラ、オオコメツツジ、マツムシソウ、タテヤマウツボグサ、イワギボウシ、ヤマモミジ、トウゴクミツバツツジ、オサシダ、カライトソウ、タカネアオヤギソウ、ノリノキ、アカミノイヌツゲ。

△ この辺一帯は針葉樹帯を欠き、然も所々に寒地性のものは温帯中に多く交えて必然雑居の姿をなせり。そして安全域に達せざるものか。この辺1300 m内外。

ツマトリソウ、イワカガミ、ブナ出ず。ダンコウバイ、クロモジ、ユズリハ、ツノハシバミ、トウゴクミツバツツジ、ミズナラ、ヤマモミジ、ヤマウルシ、イヌツゲ、マンサク、クロソヨゴ、オオカメノキ、コミヤマカエデ、ウシコロシ、ウワミズザクラ、コシアブラ、ハウチワカエデ、ツルリンドウ、カンアオイの一つ、キイチゴ、ヒロハツルリンドウ、クロバナヒキオコシ、スノキ、ノリノキ、クマザサ、ヒメノガリヤス、マイヅルソウ、ウラジロハナヒリノキ、ヤマドリゼンマイ、ヤマハハコ、テツカエデ、クルマバヒヨドリ、ヒカゲノカズラ、オオカワズスゲ、ツルアリドオシ。

△ 湿地あり。アイバソウ、□□カンアオイ、ヤマアザミ、ゼンマイ、ミヤマドジョウツナギ、ナツユキソウ、タツノヒゲガヤ?、クロベ、ミネカエデ、サラサドウダン、ホソエウリハダ、シュロソウ。

△ ブナ、ミズナラ暫く多し、その間に点々とクロベを交ゆ。他に高木なし。コウヤノマンネンズギ、マンサク、アブラチャン、リョウブ、ナナカマド、この辺1600 m、初めてミヤコザサ出ず、チシマザサを交え来ん。オオイタドリ多し、イヌエンジュ、コシアブラ、オオカメノキ、ミヤマカエデ、マイヅルソウ、ニガナ、イワニガナ。

△ 右の如く寒温二帯の中で雑居するは、□□□□登上に際し、逃避後に見るものか。根強く温帯の林中に踏み止まれるものならん。かくの如き景観を呈せしはこの辺の気象は、□□特に山地の降雪量も莫大にして、初雪早く終雪遅く多く、寒地Pの固守遺存に便せしめし為ならん。現在に於いてこの附近一帯の残雪は8月半ばといえども1500, 1600 m

乃至1700, 1800 m辺にも可なり多くあり、2000 m以上には甚だ多きを以つても多と事情を異にするを知るべし。余は以上のP帯を混合植物帯(雑居の意)と称すべし。

△ 針葉樹帯の欠如する理由。ヤマサギソウ、ウスユキソウ、モンカンアオイ、カラスシキミ(美のミヤマシキミより細葉)、オオコメツツジ、シロバナシャクナゲ。

△ ハイマツの疎林出ず……1500, 1600 m?。この辺のPはアカツゲ(註: アカミノイヌツゲの何か?)、ミズナラ、クマザサ、スノキ、オオコメツツジ、ブナ、マンサク、サラサドウダン、ギボウシ、ミヤママコナ、ノリノキ、アキノキリンソウ、シロシャクナゲ、チシマザサ、リョウブ、アブラチャン、ニガナ、イタヤメイゲツ、オオイタドリ、イヌツゲ、サワフタギ、ホツツジ、オサシダ、ナナカマド、オオハナヒリノキ、ヒカゲノカズラ、チゴユリ、ミツバオウレン、ノギラン、ミヤママコナ、ハウチワカエデ、ヤマウルシ、イワカガミ、ゼンマイ、ヤマソテツ、イ、ハナヒリノキ、イワナシ、オオカワズスゲ、オオカメノキ、タガネソウ、アカモノ、ハクサンオミナエシ、ツリガネニンジン、ヤマブキショウマ、ナツユキソウ、ミヤマシキミ、イヌエンジュ、コシアブラ、ツクバネソウ、ニガイチゴ、オオバショリマ、ヨモギ、ヤマハハコ、イワニガナ、トシマガヤ、カラスシキミ、ゴウソ等より成る林なり。

△ 少しく登れば、ハイマツ、ヒメコマツ、クロベ、アカツゲ等の林なり。シノブカグマ、ツマトリソウ、コバイケイ。

△ Reric Flora キレバサンカヨウ、カライトソウ、ゼンテイカ、ツルアリドオシ、ハクサンダイゲキ、ノアザミ(ユキクラ見)、ナツユキソウ。オオコメツツジ、キンコウカ、カライトソウ、ヤマブキショウマ、ツリガネニンジン、イワショウブ、ノガリヤス、ミズナラ、イワシモツケ、ミヤマコゴメグサ、ミヤマハンノキ、ヤマトウキ、チシマセンブリ、ムシトリスミレ、モウセンゴケ、トダシバ、ヒカゲノカズラ、イワギボウシ? (白馬と同一)、マツムシソウ、ミヤマハナヒリノキ、タカネアオヤギソウ、タテヤマウツボグサ、キジムシロ、タカネニガナ、コトノボソウ、エゾシオガマ、ウメバチソウ、ミヤマアブラススキ、トキソウ?、タテヤマリンドウ、イワオトギリ、エゾノショウジョウバカマ、イブキジャコウソウ、マンサク、クロベ、コナラ、ミヤママツムシソウ、ヌマガヤ?、ヨツバシオガマ、ナナカマド、ヤシャブシ、ミヤマキンバイ等あり。

△ この地に接してイカリソウ、リョウブ、ハクサンタイゲキ、クロベ、コメツガ、アカツゲ、ヒメタケシマラン、オオイタドリ、ヤマウルシ、ヤマソテツ、コシアブラ、ホツツジ、タカネコウボウ、チシマザサ、タムシバ、イブキゼリ、ミネカエデ、ナガバヤナギ、マンネンスギ、ミヤマザサ、ブナ、イ、ノガリヤス、ハイマツ、ゼンマイ、フキ、チダケサシ、アカモノ、ゴゼンタチバナ、クロミノタケシマラン、タケシマラン、ミヤマシキミ、オオバスのキ、キソチドリ、コイチヨウラン、ホソバノトウゲシバ、タカネイバラ、シロシャクナゲ、ササゲ、ミヤマカンスゲ、チシマザサ、シノブカグマ、イヌツゲ、ワレモコウ。

△ この辺多くの蛇紋岩なり。コメススキ、オオコメツツジ。

△ ハイマツ、湿原に出ず。沼あり。コバイケイソウ、カライトソウ、イワショウブ、キンコウカ、チングルマ、ワレモコウ、ヒメハナゴケ、クロマメノキ、イワオトギリ、ミヤマコゴメグサ、ホタルイ、ワタスゲ、モウセンゴケ、コトンボソウ、ヒメイヌノハナヒゲ、コケスギラン、ヤチスギラン、イワカガミ、タテヤマウツボグサ、シモツケソウ、ハクサンタイゲキ、カライトソウ、ユキクラアザミ、ミズゴケ。

△ 沼畔はお花畑。コバイケイソウ、シモツケソウ、カライトソウ、タテヤマヌカボ、ノガリヤス、ゼンテイカ、エゾシオガマ、イワオトギリの大群落なり。キバナノコマノツメ、ヤマヌカボ、シロバナニガナ、ミズナラ、カラマツソウ、ハリスゲ、ヒメワレモコウ、ゼンマイ。

△ 露营地（八方の尾根の下）。ツメクサ、ヤマヨモギ、イ、オオイタドリ、ミヤマコゴメグサ、カワラマツバ、ミヤマアザミ？。

△ 少し下方にシロツメクサ、アカツメクサ、ムラサキススキ、タチツボスミレ（無毛、距は長い形、葉の裏は紫色なり）。

△ 沼の温度 小さい方 16 度、大きい方 19 度。

8月14日、八方露营地発。ホツツジ、湿原にはイワイチョウ、ノガリヤス、タマブキ、シモツケソウ、ミヤマツリガネニンジン、ウスユキソウ、チシマザサ、タカネバラ、ハクサンタイゲキ、オヤマリンドウ、エゾシオガマ、チングルマ、タテヤマウツボグサ、イワオトギリ、ミヤマオトギリ、イ、エゾカンゾウ、イブキボウフウ、ミズナラ、タカネコウボウ、ダケカンバ、ヨツバシオガマ、カワズスゲ、クルマ

ユリ、オオイタドリ、ヤマヨモギ、ヒカゲノカズラ、オサシダ、ゼンマイ、トウヒレン。

△ 斜原。ナナカマド、キンコウカ、ワレモコウ、カライトソウ、コバイケイソウ、エゾカンゾウ、イワカガミ、コメツツジ（花□）、ミヤマコゴメグサ、オオイタドリ、ノガリヤス、ユキワリソウ、シロバナニガナ、コスギラン、シロヤマトキソウ、ユキクラアザミ、ツマトリソウ。

△ 登る、暫時寒地性のものを加う。イワショウブ、チングルマ、ヌマガヤ、ミツバオウレン、ホソバキソチドリ、ミヤママツムシソウ、ミヤマママコナ、ホソバイブキボウフウ、ウメバチソウ、イブキジャコウソウ、ユキワリソウ。

△ お花畑。コメススキ、ミヤマヤナギ、チシマセンブリ、ミヤマツリガネニンジン、キジムシロ、ヨツバシオガマ、キバナノカワラマツバ、ハクサンサイコ、ハナゴケ、オニハナゴケ、コバノエイランタイ、チシマザサ、タカネアオヤギソウ、アキノキリンソウ、クロマメノキ、ハナヒリノキ、ミズナラ、クロベ、ハイマツ、オオコメツツジ、ミヤマアブラススキ、アカツゲ、コメツガ、ヤマトウキ、ミヤマネズ、ヤマブキショウマ、オオイタドリ、ワレモコウ、イワシモツケ。

△ この辺より純然たる寒地帯なり。ツリガネツツジ、イワイチョウ、ワタスゲ、モウセンゴケ、ミヤマカワズスゲ（小日向の白馬と同一）、ミヤマネズ、ノギラン、イワショウブ、ホタルイ、ワレモコウ。

△ 崖地。ミヤマウイキョウ、オヤマソバ、ミヤマムラサキ、ミヤマハンノキ、タカネダイモンジソウ、クロマメノキ、ムシトリスミレ、シロバナミヤマムラサキ、コタヌキラン、ミヤマタネツケバナ、ヒメカラマツ、チシマセンブリ、ツリガネツツジ、ホツツジ、コケモモ。

△ クモマベニヒカゲ、ツユムシ、タカネナデシコ、シロバレンシバ、ヒメイワショウブ、シロバナミヤママツムシソウ、クモマミミナグサ、ヤマトウキ、ミヤマタムラソウ、オオイタドリ、イワギボウシ、ヒメミヤマママコナ、チシマザサ、チシマセンブリ、コアキカラマツ。

△ 水辺。蛇紋岩なり。クモマミミナグサ、コタヌキラン、ミヤマタムラソウ、コケスギラン、セキショウの一つ、ヒメイワショウブ、タカネスギカズラ、イワシモツケ、ワレモコウ、オオバメギ。

△ お花畑（八方頂下）砂礫地群落。ウサギシダ、コバノツメクサ、ウスユキソウ、ミヤマウイキョウ、イワシモツケ、オオウシノケグサ、イブキジャコウ

ソウ、クモマミミナグサ、イワニガナ、ミヤマヤマブキショウマ(白馬大日向と同一)、シロウマアサツキ、シロバナホタルブクロ、ハクサンイチゲ、イワオトギリ、オヤマソバ、ミネノガリヤス、シモツケソウ、ユキクラアザミ、チシマセンブリ、キバナノカワラマツバ、イワテハタザオ。

△ 蛇紋岩上に擦痕あり。ミヤマクワガタ、ミヤマアズマギク。

△ 池の付近。タカネヒカゲノカズラ、ハクサンボウフウ、コミヤマリンドウ、イワイチョウ、オオイタドリ、ゼンテイカ、キンコウカ、オヤマソバ、ナナカマド、ホツツジ、シロウマアサツキ、ミヤマトウキ、イワニガナ、タカネミミナグサ、コメガヤ、フジハタザオ、ヒメワレモコウ、ウシノケグサ、ミヤマタネツケバナ、タカネキスミレ、チシマギキョウ、ミヤマネズ、クロウスゴ。

△ 御池の周囲。シロバナミヤマムラサキ、オヤマソバ、タカネバラ、キバナノカワラマツバ、ダケカンバ、クロマメノキ、シモフリナデシコ。

岩角。ミヤマハンノキ、ムシトリスミレ、ミヤマアズマギク、ユキワリソウ、イワイチョウ、コトロボソウ、タカネダイモンジソウ、ミヤマネズ、モウセンゴケ、コケスギラン、ガンコウラン、ニガナ、タチマンネンズギ、タカネアオヤギソウ、イワショウブ、チングルマ、キンコウカ、ゼンテイカ、ミヤマコゴメグサ、ハイマツ、コバイケイ、チシマザサ、チシマニンジン、ワレモコウ、マツムシソウ、ナナカマド、イワシモツケ、ウメバチソウ。

△ 登るとお花畑。ミネノガリヤス、キジムシロ、コケモモ、クロマメノキ、ミヤマネズ、ニガナ、ミツバオウレン、エゾシオガマ、タカネヒカゲノカズラ、オヤマリンドウ、ネバリノギラン、ウスユキソウ、ミヤマツリガネニンジン、ユキワリソウ、チシマセンブリ、オヤマソバ、ミヤマウイキョウ、コアキカラマツ、ヒカゲノカズラ、コイワカガミ、シモフリゴケ、イブキジャコウソウ、コメツツジ、ダイモンジソウ、ヨツバシオガマ、クルマユリ、ミヤマムラサキ、ハクサンイチゲ、ナンブクロスゲ、タカネクロスゲ、ミヤマノガリヤス、フジハタザオ。

△ 池に凹地□□□□ありし、径 40 間、楕円形をして浅し 1 m 以下。

唐松岳にかかる。ショウジョウスゲ、アキノキリンソウ、ミヤマネズ、ユキワリソウ、コケモモ、ガンコウラン、シモフリナデシコ、クロマメノキ、キバナカワラマツバ、イブキジャコウソウ、タカネアオヤギソウ、ウスユキソウ、オヤマソバ、ウメバチ

ソウ、ミヤマウイキョウ、ミヤマワレモコウ、ミヤママツムシソウ、ハイマツ、ダケカンバ、ミヤマハンノキ、コカラマツ、コタヌキラン、チシマセンブリ、クモマミミナグサ、コバノツメクサ、フジハタザオ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマトウキ、ハクサンボウフウ、ホソバイブキボウフウ、コメススキ、ウシノケグサ、ミネノガリヤス、イワノガリヤス、コトロボソウ、ムシトリスミレ、アオイワショウブ、コメツツジ、オオバスノキ、イワシモツケ、タカネバラ、タテヤマウツボグサ、ニガナ、イワオトギリ、カライトソウ、イワニガナ、ミヤマホタルブクロ、ノリクラアザミ、ヒメミヤマナデシコ、シロバナミヤマツリガネツツジ、ホタルブクロ、イワガリヤス、ミヤマシグレ、ヒメスゲ、ミヤマゼンゴ、ウマスギゴケ。

△ ダケカンバ林に出ず。ミネカエデ、マイヅルソウ、ハクサンオミナエシ、ヒメタケシマラン、シロシャクナゲ、チシマザサ、チシマニンジン、タカネナデシコ、タテヤマリンドウ、ミヤマアズマギク、シロバナニガナ、イタドリ、オオイタドリ、ヤマヨモギ、オタカラコウ(マルバノチョウリョウソウ)、イワニガナ、タカネトウヒレン、ヤマハハコ、ミヤマコウゾリナ、ウサギギク、モミジカラマツ、ミヤマシシウド、ミヤマアザミ、ユキザサ、ミヤマキンボウゲ、シロバナヘビイチゴ、エンレイソウ、コバイケイソウ、シナノキンバイ、ハクサンボウフウ、ヒトツバヨモギ、タカネウラジロイタドリ、ミヤマオトギリ、タカネスイバ、オオバショリマ、クルマユリ、ベニバナイチゴ、シノブイノデ、ミヤマドジョウツナギ。

△ この辺残雪あり。チングルマ、ミヤマキンバイ、アオノツガザクラ、アラシグサ、オオバタケシマラン、ショウジョウスゲ、オオキンスゲ(白馬□の同一)、タカネヨモギ、クロツリバナ、チョウカイゼリ、ユキザサ、キレバハクサンボウフウ、ハリブキ、キレバサンカヨウ、オオヒョウタンボク、ウラジロナナカマド、ミヤマワラビ、イワノガリヤス、ゴヨウイチゴ、ニガナ、ヒロハノコメススキ、ミヤマアオスゲ、イトキンスゲ、クロクモソウ、エンレイソウ、ミヤマメシダ、アラシグサ、ホザキカエデ、ヒメクワガタ、キオン、キンスゲ、オクヤマシダ、ヒロハドジョウツナギ、オオバヨツバムグラ、ハリブキ、タカネコウボウ、タカネナナカマド。

△ 真のハイマツ帯を出ず。ハイマツ、ガンコウラン、コケモモ、ミネズオウ、クロマメノキ、チングルマ、マイヅルソウ、シラベ、ダケカンバ、シロシャクナゲ、ヒメスゲ、チシマニンジン、クロウス

ゴ、クロツリバナ、ツマトリソウ、ゴゼンタチバナ、イトキンスゲ、ミネカエデ、ミヤマホツツジ、ハナヒリノキ、クロベ、コヨウラクツツジ、ウサギギク、コガネイチゴ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、ミヤマリンドウ、タカネウスユキソウ、タカネヨモギ、ムシトリスミレ、タカネコウボウ、コバイケイソウ、オクヤマアザミ？。

△ 頂上。花崗岩なり。ミヤマダイコンソウ、ハクサンイチゲ、ハクサンチドリ、トウヤクリンドウ、ミヤマリンドウ、ネバリノギラン、ツガザクラ、アオノツガザクラ、タカネウスユキソウ、コケモモ、ムシトリスミレ、クロマメノキ、ミヤマコウボウ、チシマニンジン、ミヤマキンポウゲ、ミヤマゼンゴ、チシマギキョウ、ウラシマツツジ、コメバツガザクラ、タカネキスミレ、ミヤマコゴメグサ、ウシノケグサ、タカネウラジロイタドリ、ミヤマハンノキ、アキノキリンソウ、コイワカガミ、ハクサンフウロ、ヨツバシオガマ、ウサギギク、ミヤマコウゾリナ、ミネノガリヤス、コメススキ、ヒメスゲ、ショウジョウスゲ、タカネナナカマド、タカネスイバ、イトキンスゲ。

△ 下る。タカネトウヒレン、ウスユキソウ、ミヤマゼンゴ、ベニバナイチゴ、コバイケイソウ、ミヤマリンドウ、シラタマノキ、クロウスゴ、ハイマツ、シラベ、キバナノコマノツメ。

△ 小屋発。唐松の頂上へ登る。この辺花崗岩なり。チングルマ、ハクサンイチゲ、ミヤマネズ、タカネスギカズラ、シロバナシャクナゲ、イワスゲ、コマクサ、タカネキスミレ、コイワカガミ（檜、八方の頂きと□同一）、残雪あり。タカネリンドウ、タカネウラジロイタドリ、イワギキョウ、ミヤマクワガタ、オンタデ、ミヤマコウゾリナ、タカネウスユキソウ、ミヤマホツツジ、エゾシオガマ、ツガザクラ、タカネトウヒレン、アカトド？、シラタマノキ、オオバショリマ、ミヤマトウキ、コメバツガザクラ、ツガザクラ、ウラシマツツジ、チシマギキョウ。

△ 唐松岳の頂上を進む。イワウメ、チシマギキョウ、ミヤマヌカボ、イワヒゲ、イワツメクサ、キバナシャクナゲ、ミヤマコウボウ、ナガバスノキ。

第二の頭の上へ。ナガバスノキ、キバナシャクナゲ、ミヤマネズ、ミヤマハナヒリノキ。

△ 奥不帰の嶮にかかる（花崗岩）。ミヤマオダマキ、チシマギキョウ、チャボゼキショウ、ムカゴトラノオ、ミヤマダイコンソウ、タカネウスユキソウ、イワウメ、ヒメカラマツ、ミヤマシオガマ、ミヤマキンバイ、ハクサンイチゲ、トウヤクリンドウ、

シコタンソウ、タカネナルコスゲ、ミネノガリヤス、チシマアマナ、フイリハクサンイチゲ、イワヒゲ、シロウマスゲ、タカネスギカズラ、ムカデゴケ、ウメザキツガザクラ、リボンゴケ。

△ 下る。タカネヨモギ、ヒトツバヨモギ、ベニバナイチゴ、ミヤマドジョウツナギ、アオヤギソウ、タカネウラジロイタドリ、チョウカイゼリ、シロウマアカバナ、イワスゲ、イワキンスゲ、キンチャクスゲ、イワオトギリ、タカネコウボウ、ミヤマワラビ、イワガリヤス、タカネナナカマド、ヤハズトウヒレン、ミヤマナズナ、ハクサンフウロ。

△ 不帰岳に登り、黒部保勝会にかかる。ハクサンフウロ、タカネウラジロイタドリ、ミヤマハナヒリノキ、マイヅルソウ、シラタマノキ、コメススキ、ミヤマハンノキ、イワノガリヤス、タカネナナカマド、ミヤマキンバイ、ミヤマコウボウ、ミヤママツムシソウ、カラマツ、クロユリ、タカネスイバ、ヤマブキショウマ、タカネトウヒレン、タカネヨモギ、ハクサンイチゲ、ミヤマゼンゴ。

△ 昼食場。ミヤマハンノキ、クロウスゴ、アキノキリンソウ、タカネウラジロイタドリ、ベニバナイチゴ、シロウマノガリヤス、ハイマツ、イワノガリヤス、ヒロハノコメススキ、チシマギキョウ、ヨツバシオガマ、ツガザクラ、ナナカマド、イワカガミ、コイワカガミ、ミヤマホツツジ、ミネノガリヤス、チシマニンジン、キオン、タカネコウボウ、コケモモ、トウヤクリンドウ、コメツガ、ミヤマコウゾリナ。

△ 天狗岳にかかる。タカネキスミレ、ミヤマコゴメグサ、ミネノガリヤス、トウヤクリンドウ、チシマニンジン、ミヤマキンバイ、シンパク、イワベンケイ、タカネウスユキソウ、チングルマ、ミヤマネズ、ネバリノギラン。

◎ 不帰岳より信州側と越中側との差を見れば、多□□雪の侵食が風の力に優れて山体を掘り流すのを知るべし。この辺（不帰）の大雪渓周辺の地形による白馬のそれと伝□たり。ミヤマコウゾリナ、タカネニガナ、タカネアオヤギソウ、ツガザクラ、ウメバチソウ、ヨツバシオガマ、ミヤマハナヒリノキ、ハクサンボウフウ、コメススキ、タカネミミナグサ、ミヤママツムシソウ、イワベンケイ、チシマアマナ、タカ（クマタカ？）を見る。タカネツメクサ（初めて見る）、シコタンソウ、ミヤマシオガマ、タイツリオウギ、ミヤマオダマキ。

△ 不帰の嶮となる。2里45間。ウラシマツツジ、ミネズオウ、イワツメクサ、コメバツガザクラ、キ

バナシクナゲ、タカネウスユキソウ、タカネヒカゲノカズラ、ハクサンボウソウ、ショウジョウスゲ、コイワカガミ、チングルマ、アオノツガザクラ、ミヤマネズ、ミヤマリンドウ、ミツバオウレン。

△ 8月15日 八方小屋発。牛首岳(唐松の一部)に向かう。クロユリ。

△ 八方小屋付近。はい松の上部界下にありて、小屋の下方より大なるハイマツ林は西側全部を敷いて発達し、下方は細小なる岳樺林を挟みて針葉樹林に移行するも、信州側は頂上よりお花畑ありて、頂下にも所々に之ありて、ハイマツ林となり。所々にお花畑を挟みて岳樺林となり。時々直ちに(多くは温帯植物帯をなしつつ)潤葉喬木帯即ちブナ帯に移行す。故に針葉樹林帯を缺く、所々ブナ帯中にヒメコマツ、ハイマツ、クロベ、コメツガ等が交じゆること間々あり。

△ 越中側の頂上部は強風激しく吹き当たるにより(常に風に北方面で卓越す)で風化盛行にして頂上の多く砂礫の平地と化し、凹凸少ない礫野をなす。こと常念山脈に異ならず。之に反して信州側の白馬と同様永年氷雪水食の為に侵食を早め山体を切り取り、堀りとりして直□する懸崖を以て□てり。年々欠損するは明白なり。故に所々に雪溪の□頭を湧人して越中側を侵せり。雪溪も信州側に変わり立つ。

△ 疑似カールも所々にありて大残雪の□□□けしものは八方岳頂と天狗岳頂の南方にあり。その残雪の内面に垂直の断崖ありて霧雪蝕の□□取りの為に造れし「ベルダンコハンド」に似せんものありて、カール皆の如きも、雪田下に推石堤なし之も大いに注意すべきことなり。

○ 牛首岳頂信州側お花畑。タカネヨモギ、ハクサンフウロ、コメススキ、ミヤマコウゾリナ、チシマニンジン、タカネウスユキソウ、タカネトウヒレン、ハクサンボウフウ、アキノキリンソウ、ハクサンイチゲ、シラタマノキ、キジムシロ、ミヤマコゴメグサ、ハクサンチドリ、ミヤマキンボウゲ、シナノキンバイ、タカネウラジロイタドリ、コイワカガミ、ネバリノギラン、タカネダイモンジソウ、ミヤマホツツジ、ショウジョウスゲ、タカネヒカゲノカズラ、ヒメクワガタ、アオノツガザクラ、ミヤマタネツケバナ、ミヤマクワガタ、ミヤマキンバイ、ミヤマクロボシソウ。

越中側にハイマツ林を□□□せり。ウサギギク、イワヒゲ、ヨツバシオガマ、シロバナヨツバシオガマ、タカネナナカマド、ミヤマダイコンソウ、ミヤマネズ。

△ 牛首岳を上る。コケモモ、ガンコウラン、ウラシマツツジ、イワスゲ、トウヤクリンドウ、コメバツガザクラ、ミネノガリヤス、ハナヒリノキ、ツガザクラ。

△ この辺角閃小□岩なり。岩石の露出多くして、信州側に大絶壁あり。壁下り、五、六の小雪溪あり。ミヤマヌカボ、チシマギキョウ、シロウマスゲ、イワツメクサ、タカネキスミレ、ミヤマアザミ、カラマツ、ヤマブキショウマ、クロウスゴ、オオヒョウタンボク、コマクサ、ミヤマタネツケバナ。

△ 牛首と大黒との最低所(キレット)に向かつて降りる。オヤマソバ、チシマギキョウ、イワツメクサ、ミヤマダイコンソウ、トウヤクリンドウ、ミヤマキンバイ、タカネキスミレ、コケモモ、コメバツガザクラ、ミヤマコゴメグサ、ベニバナイチゴ、オヤマソバ、ウラシマツツジ、チシマザサ、ミヤマヤナギ、ミヤマキンバイ、リンネソウ、ゴゼンタチバナ、イワガリヤス、タカネザクラ、ウシノケグサ、タカネニガナ、ナガバノキ。

△ 最低所に森林限界線あり。シラベの森林なり。最低所の信州側はお花畑にして大黒鉱山で□□□□通る。コメススキ、カライトソウ、タカネヨモギ、ミヤマコウゾリナ、シロシクヤク、ヒメスゲ、ツルツゲ、タテヤマウツボグサ、タカネウスユキソウ、ダケガラス、ミヤマコゴメグサ、オヤマリンドウ、ハクサンイチゲ、イワカガミ、ヨツバシオガマ、キレハハクサンボウフウ、ノガリヤス、タケシマラン、ミネカエデ、ミツバオウレン、マイヅルソウ、コガネイチゴ、ヒメタケシマラン、ミズゴケ、コケモモ、コヨウラクツツジ、ガンコウラン、クロマメノキ。

△ 大黒鉱山を見つつ、製錬所なければ事務所その他3棟見ゆ。周囲鉱毒の為に赤瓦となる。鉱石の□りし五竜岳の北側なり。

△ シラベの森を通り、高さ1丈内外、林下にヤマソテツ、マイヅルソウ、ミヤマワラビ、ゴゼンタチバナ、コガネイチゴ、ゴヨウイチゴ、オガラバナ、ミヤマホツツジ、コヨウラクツツジ、オオヒョウタンボク、ハリブキ、タケシマラン、ツマトリソウ、シラベ、タカネナナカマド、シノブカグマ、オオバノキ、アキノキリンソウ、シロシクナゲ、ハナヒリノキ。

△ 通り終わる。またお花畑あり。ミヤマクワガタ、カライトソウ、エゾシオガマ、ヨツバシオガマ、ウサギシダ、クルマユリ、シロバナニガナ、ニガナ、ミヤマコウゾリナ、ミヤマオトギリ、ヒトツバヨモギ、オオバショリマ、ミヤマアザミ、ミヤマゼンゴ、

タカネスイバ、ハリブキ、ミヤマワラビ、タカネウラジロイタドリ。

△ 長きハイマツ林を通る。小池あり、休む。アオジクスノキ、ミヤマシシウド、ハクサンイチゴツナギ、カラクサイノデ、カニコウモリ、オオバミゾホオズキ、クロクモソウ、ウラジロナナカマド、クロツリバナ、ミヤマシダ、モミジカラマツ、コバイケイソウ、ナツユキソウ、キヌガサソウ、オオレイジンソウ、キバナノコマノツメ、ミヤマカンズゲ、オオヒョウタンボク、コバイケイソウ、サンカヨウ、キレハサンカヨウ、タケシマラン、ヒメタケシマラン、エゾノショウジョウバカマ、オオバヨツバムグラ、オオメシダ、エゾクロクモソウ、マイヅルソウ、シロウマアカバナ？、ハクサンボウフウ、クロウスゴ、スギカズラ。

出発。トリアシショウマ、ヤグルマソウ、イブキゼリ。

△ 上る。ミネズオウ、ミヤマトリカブト、タカネコウボウ。

△ 五竜岳の前山（牛中山）にかかる。小お花畑あり。大黒岳との間に。ミヤマクワガタ、イワオウギ、ヤマハハコ、キングルマ、コアカバナ、イワニガナ、タカネスイバ、タカネウラジロイタドリ、イワツメクサ、イワウメ、イワノガリヤス、ミヤマヌカボ、ハクサンイチゲ、チシマギキョウ、ミヤマキンバイ、ウラシマツツジ、ミヤマコゴメグサ、ヒロハチシマニンジン、シロウマスゲ、ミネノガリヤス、コメススキ、ダケカンバ、ミヤマダイコンソウ、タカネニガナ、コケモモ、ガンコウラン、ミヤマシオガマ、ミヤマコウボウ、キバナシャクナゲ、トコブシゴケ。

△ 牛中山の頂上の信州側。アキノキリンソウ、ミヤマコウゾリナ、タカネヨモギ、シロシャクナゲ、シラタマノキ、ガンコウラン、トウヤクリンドウ、ヤマブキショウマ、ハナヒリノキ、コメススキ、キジムシロ、コケモモ、タカネアオヤギソウ、ツマトリソウ、イワカガミ、ナガバスノキ、ミヤマハンノキ、ミヤマホツツジ、タカネナナカマド、オオバシヨリマ。

△ 同越中側は全部ハイマツ林なり。所々に赤瓦地あり（頂上付近も）。イワスゲ、オヤマソバ。

△ 下り。五竜山との鞍部に至る。オヤマソバ。

△ 間のお花畑（カール底側のお花畑）。タカネヨモギ、キングルマ、ミヤマクワガタ、タカネウラジロイタドリ、ミヤマハンノキ、ミヤマキンボウゲ、ヤマハハコ、ハクサンボウフウ、ミヤマコウゾリナ、

ハクサンイチゲ、シロバナヘビイチゴ、タカネコウボウ、エゾシオガマ、トウヒレン、ミヤマクロボシ、ヒメクワガタ、チシマギキョウ、ミヤマハタザオ、シロウマアカバナ、ショウジョウスゲ、ミヤマタネツケバナ。

△ 点。チシマザサ、エゾノショウジョウバカマ、ヒロハノコメススキ、ミヤマリンドウ。

△ 牛中山は五竜山との間にあり。信州側は「カール」をなすもあまり良好ならず。後ろの崖はやや緩やか、雪渓3、4条あり、末は1本に合し、U字形溪谷をなしてモレーン？を実証し、右に於いて溪となる。右は鹿島川の水源（大川）に開□すべきなり。

△ 大遠見山を北より見れば頂上全部にダケカンバ、ハイマツ等は□□深く封鎖してお花畑は見えず。

△ 餓鬼山は大黒鉱山西方にあり。頂とともにシラベ林なり。□□□□花崗岩なり。

△ カールより2分して五竜岳は小花崗岩となる。

△ 牛中山にウルップソウありと。

△ 五竜岳の登りにかかる。タカネニガナ、タカネツメクサ、ハクサンフウロ、オヤマリンドウ、クルマユリ、ミヤマクワガタ、ハクサンボウフウ、シロウマアカバナ、ミヤマキンバイ、ミヤマキンボウゲ、ウサギギク、ミヤマクロボシ、ヒメクワガタ、アオノツガザクラ、クルマユリ、タカネトウヒレン、シナノキンバイ、ショウジョウスゲ、コケモモ、タテヤマキンバイ、ミヤマトウヒレン、シラタマノキ、ミヤマハタザオ、ミヤマタンポポ、ヒロハチシマニンジン、エゾノショウジョウバカマ、ベニショウジョウバカマ、クロクモソウ、ノウゴイチゴ、キレハサンカヨウ、タカネスイバ、アラシグサ、ミネズオウ、ミソガワソウ、チョウカイゼリ、タテヤマウツボグサ、モミジカラマツ、カライトソウ、ネバリノギラン、ベニバナイチゴ、タカネコウボウ、ミヤマアザミ、ヨツバシオガマ。

△ この辺の山一帯に針葉樹帯なし。然し五竜山の両側面に粗林ありは、針葉樹帯の組織するイトマなかりしか。雪量多くしてその影響を受けしものか。

△ 五竜岳へ登る。トウヤクリンドウ、ミネズオウ、イワスゲ、チシマギキョウ、ミヤマシオガマ、ミヤマコウボウ、タカネアオヤギソウ、ムシトリスミレ、コメバツガザクラ、オヤマソバ、タカネキスミレ、イワツメクサ、ミヤマキンバイ、ミヤマコウゾリナ、ウラシマツツジ、イワウメ、ミネノガリヤス、ウシノケグサ、ミヤマゼンゴ、マイヅルソウ、チングルマ、エゾノショウジョウバカマ、ハナヒリノキ、

チシマアマナ、キバナシャクナゲ、タカネウスユキソウ、クロマメノキ、ミヤマザクラ、ツガザクラ。

△ 中腹に達す。ムシゴケ、ハナゴケ、コスギラン、コイワカガミ、ミヤマコウボウ、チングルマ、イワヒゲ、ミヤマネズ、ウルップソウ、タカネツメクサ。

△ この辺角閃小紋岩なり。最南端なるべし。タカネヒカゲノカズラ、タカネソモソモ。

△ 頂上。ヒメイワショウブ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、タカネウスユキソウ、イワウメ、イワヒゲ、ジムカデ、ミヤマヌカボ、イワスゲ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマタネツケバナ、イトキンスゲ、ヒメスゲ、ミヤマネズ。

△ 頂上より下り、尾根にかかる。角閃小紋岩は□□硬けれ低熱に対すれば、膨張収縮する率大なるべければ凡そ破れ目のなき岩なり。たとうれば割れて落下す。自然にも落下して下方にザレ(岩なだれ)となること普通なり。所々に深き割れ目を造る。雪氷なりぬ。愈々深き裂峰となる。

○ 蓮華・針ノ木・爺ヶ岳、二十日、大町の人、コマクサ取りをなし、薬種商に売りし1貫目20円位。

△ 五竜を下る。ウルップソウ多し、タカネキスミレ、イワブキ、オヤマノリンドウ、チシマアマナ、タカモソモソモ、ヤハズトウヒレン、ミヤマシオガマ、タカネシオガマ、ムカゴトラノオ、カラマツ、タカネアオヤギソウ、イワベンケイ、ミヤマコゴメグサ、タカネニガナ、ミヤマウイキョウ、ミヤマタンポポ、ミヤマナギ、ミヤマキンポウゲ、タカネウラジロイタドリ、タカネズメノヒエ、シコタンソウ、ヒロハノコメススキ、ミヤマクワガタ、アカソモソモ、ミネノガリヤス。

△ 頂にかかる。ウスユキソウ、シコタンソウ、タカネコウボウ、カライトソウ、ミヤマキゴケ、シンパク、カライトソウ、ミヤマオダマキ、ミヤマツムシソウ、イワオウギ。

△ 泊地。ミヤマムラサキ、シコタンソウ、ヤハズトウヒレン、ミヤマウイキョウ、ミヤマクワガタ、ミヤマナズナ、チシマアマナ、チシマギキョウ、ハクサンイチゲ、ウシノケグサ、タカネツメクサ、タカネニガナ、タカネキスミレ、ニガナ、タカネヨモギ、タカネウスユキソウ、ミヤマネズ、ミヤマツムシソウ、ヨツバシオガマ、タカネアオヤギソウ、ミヤマハナヒリノキ、ミヤマゼンゴ、クロユリ、ヒゲノガリヤス、タカネコウボウ、ウサギギク、ハクサンボウフウ、ミヤマキンポウゲ、タカネウラジロイタドリ、ヒメクワガタ、ミヤマクワガタ、ミヤマナズナ、

ヒモカズラ。

△ 東谷の頭に宿る。この辺は角閃小紋岩にして山相の険悪なること、岩石の崩壊すること、所々岩なだれ(ガレ、ザレ)のあることは、穂高岳と異ならず。夜中も亦風の為に岩石片の崩落する声を聞くこと屢々なり。ハイマツは所々点々斑々岩石面に着生せり。

信州側は風弱くして崩落甚だしく直立に近き、所々絶え間なき崩落の為に植物群落の純□□した。やや後□所は土壌のある斜面はお花畑多く、植物も多く種々蔵する所なり。

8月16日。東谷頭野営地発。八峰連峰。

△ 五竜岳の尾根続き。シラタマノキ、コメススキ、ミヤマハンノキ、タカネウラジロイタドリ、アキノノゲシ、ハクサンイチゲ、イワノガリヤス、ミヤマホツツジ、タカネツメクサ、タカネウスユキソウ、チシマアマナ、ヤハズトウヒレン、ミヤマダイコンソウ、ミネノガリヤス、イワウメ、イワヒゲ、ガンコウラン、ミヤマキンバイ、トウヤクリンドウ、イワツメクサ、タカネスミレ、イワニガナ、イブキジャコウソウ、ミヤマコウゾリナ、カライトソウ、ミヤマクワガタ、ハクサンボウフウ、シロバナヘビイチゴ、ベニバナイチゴ、トウヒレン、キジムシロ、ナガバノキ、ゼンテイカ、ミヤマトウキ、ミヤマネズ、エゾシオガマ、ミヤマシオガマ、オヤマリンドウ、ミヤマコゴメグサ、タカネコウボウ、ミヤマシャジン、ハナヒリノキ、コイワカガミ、シンパク、(山岳スケッチ2p.省略)、タカネイバラ、チシマニンジン、コメツツジ、ツリガネツツジ、オオバスノキ、ショウジョウスゲ。

△ 本八峰の手前の最低所に至る。シロウマスゲ、ミネノガリヤス、カライトソウ、オオバキスミレ、ミヤマハナヒリノキ、タカネヨモギ、ハクサンイチゲ、オヤマリンドウ、コスギラン、シコタンソウ(シロバナ)、タカネニガナ、ナガバノキ、タカネツメクサ、カラマツ、イワツメクサ。

△ 最低所にて角閃小紋岩は花崗岩となる。ミヤマシオガマ、タカネキスミレ、ムカゴトラノオ。

△ 八峰切戸。オオウシノケグサ、イワツメクサ、イワベンケイ、クモマスズメノヒエ、ミヤマハタザオ、シロウマスゲ、タカネアオヤギソウ、トウヤクリンドウ、シコタンソウ、ミヤマキンバイ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマウイキョウ、ミヤマヌカボシ、ウメバチソウ、ミヤマゼンゴ、キバナノコマノツメ、シコタンハコベ、ミヤマシオガマ、ヤハズトウヒレン、チャボイワショウブ、チシマアマナ、イトイ、

コミヤマカタバミ、ミヤマオトコヨモギ、ミヤマクワガタ、チシマギキョウ、タカネツメクサ、イワオウギ、ミヤママツムシソウ、エゾムカシヨモギ、ミヤママンネングサ、リシリカニツリ、ミヤマオダマキ、タカネスイバ、クロクモソウ、シロウマアカバナ、ヒメアカバナ、ミヤマコウゾリナ、イワオウギ、ミヤマキンボウゲ、ヨツバシオガマ、ミネノガリヤス、ジンヨウスイバ、キオン、ミヤマハンノキ、イワノガリヤス、ミヤマヌカボ。

△ 下る。シロウマのアザミ（葉花少し切れ）、ミソガワソウ、ミヤマオトコヨモギ、ハリブキ、ハクサンフウロ、ヒトツバヨモギ、ヒロハノコメススキ、イタドリ、トウヒレン、アラシグサ、オオバミゾホオズキ、ミヤマカラマツ、チョウカイゼリ、タカネスイバ、ミヤマメシダ、ミヤマオトギリ、シロヨツバシオガマ、ミヤマクワガタ、イブキジャコウソウ、ジンヨウスイバ、ミヤマクロスゲ、コアカバナ、オオバショリマ、オオヒョウタンボク、オオメシダ、シノブイノデ、ベニバナイチゴ、トリアシショウマ。

△ この辺、花崗岩なり。切れ戸より下は所々に石は転々として□□困難なり。下りて中食す。

◎ 鹿島槍ヶ岳に登る。東鹿島槍。ヤグルマソウ、シノブイノデ、ミヤマアザミ、タカネウラジロイタドリ、ヤマブキショウマ、ミヤマカラマツ、ミヤマメシダ、オオバミゾホオズキ。

△ 上る。シラネウラボ、タケシマラン、ハリブキ、ホソバトウゲシバ、ヤマソテツ、クロウスゴ。

△ この辺シラベ林なり。マイヅルソウ。

△ ルリ（□□）の卵を見る。オオバショリマ、ゴヨウイチゴ、ミツバオウレン、オオヒョウタンボク、エンレイソウ、ベニバナイチゴ、コバイケイソウ、ユキザサ、ミネカエデ、ウラジロナナカマド、エゾノショウジョウバカマ、オオバタケシマラン、ヒメタケシマラン、ミヤマホツツジ、ゴゼンタチバナ、タカネザクラ、オガラバナ、ミヤマドジョウツナギ、オオバヨツバムグラ、シノブイノデ、ナナカマド、ミヤマワラビ、チョウカイゼリ、ミヤマシケシダ？。

△ この辺、灌木帯にて、ミヤマハンノキ、ダケカンバの密林をなせり。中に点々とシラベ、ハイマツを交ゆ。アオトドマツ、コガネイチゴ、ナガバノキ、シロシャクナゲ、ヒメスゲ、コバイケイソウ。

△ ハイマツ帯中にイワナシ、シラタマノキ、ハナヒリノキ、ツガザクラ、ガンコウラン、チシマニンジン、イワカガミ、アオノツガザクラ、ミヤマダイモンジソウ、イワツメクサ、コメススキ、ヤマブ

キショウマ、チシマギキョウ、ダイモンジソウ、タカネウラジロイタドリ、コイワカガミ、ミソガワソウ、エゾシオガマ、ウサギギク、クロクモソウ、イワガリヤス、タカネナナカマド、スギカズラ、ミネノガリヤス、タカネコウボウ、ヨツバシオガマ、タカネアオヤギソウ、ミヤマゼンゴ、シロバナヨツバシオガマ、ハクサンボウフウ、ハクサンイチゲ、ヒロハコメススキ、イワスゲ、トウヤクリンドウ、ミヤマシオガマ、リボンゴケ、カラマツ、チングルマ。

△ 頂上。ミヤマネズ、キバナシャクナゲ、クロユリ、ヒロハチシマニンジン、タカネヨモギ、ミヤマハナヒリノキ、ハクサンフウロ、ハクサンボウフウ、ヒメクワガタ、タカネコウボウ、タカネヒカゲノカズラ、キレバハクサンボウフウ、ニガナ、イワウメ、ウラシマツツジ。

△ 大断崖にして直立し、凹底の所に大雪渓を有す。その上長大なり。

△ 絶頂。ツガザクラ、ハイマツ、ハクサンイチゲ、イワツメクサ、ミヤマダイモンジソウ、イワウメ、イワスゲ、コメススキ、ミヤマヌカボ、クモマスズメノヒエ、ムカゴトラノオ、コイワカガミ、コスギラン、ミヤマシオガマ、ヨツバシオガマ、コメバツガザクラ、コケモモ、ウサギギク、イワヒゲ、ミヤマコウボウ、ショウジョウスゲ。

△ 下る。ミヤマヌカボシソウ、シロウマスゲ、イワオウギ、シコタンハコベ、シコタンソウ、ジンヨウスイバ、ヒメクワガタ、ミヤマタンポポ、イワベンケイ、ミヤマウイキョウ、シロバナヒメクワガタ、ミヤマタネツケバナ、イトキンスゲ、シロウマアカバナ？、ウサギギク、シナノキンバイ、ショウジョウスゲ、タカネヨモギ、ミヤマキンボウゲ、ツガザクラ、キバナノコマノツメ、コゴメスズメノヒエ、ミヤマコウゾリナ、白馬のキンスゲ、タカネウスユキソウ、ムカゴトラノオ、ミヤマタンポポ。

△ 鹿島槍ヶ岳は東西に峰を列し、その二峰間東側に大雪渓ありて、不滅面をなす。この付近はやや広きお花畑なり。

◎ 8月17日 鹿島槍ヶ岳露营地発。西鹿島槍に向かつて登る。ネバリノギラン、タカネトウヒレン、ウサギギク、ミヤマクワガタ、タカネヨモギ、タカネウスユキソウ、

△ 頂上近し。タカネタンポポ、ウスユキソウ、ヒロハコメススキ、クモマスズメノヒエ、ヒメクワガタ、シロウマスゲ、タカネミミナグサ、ミヤマクワガタ、タカネコウボウ、コイワカガミ、タカネト

ウヒレン、チシマギキョウ、タカネダイモンジソウ(多毛)、ツガザクラ、アオノツガザクラ、シロウマアカバナ、イワオウギ、イワベンケイ、シコタンソウ、ミヤマオダマキ、ミヤマガラシ、クロクモソウ、シコタンソウ、ミヤママンネングサ、ミヤマキゴケ、ミヤマウイキョウ、ミヤマシオガマ、イワウメ、コメバツガザクラ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマゼンゴ。

△ 絶頂。コケモモ、イワヒゲ、ミヤマキンバイ、ハイマツ、イワスゲ、ウシノケグサ、ミヤマヌカボシソウ、ミヤマコウボウ。

△ 西の尾根。ハイマツ、キバナシャクナゲ。

△ 小雪溪 一つのカル地形をなす。

△ 午後には西鹿島槍の一つの尾根の隆起点を通るものにして、全山草木を以て藪なり。露出地は少なく南側と□□あり。硬岩壁にして草原を、南側・北側より草原(ハイマツ交ゆ)多く、山□の□相あり。北側・頂辺にハイマツの密林なり。中腹この辺にはダケカンバ林が発達せり。中腹以下は針葉樹林ありて疎林をなす。南側も同様なり。牛首岳も花崗岩なり。

△ 東鹿島槍を下る(2890 m)。ウラシマツツジ、チズゴケ、アオモリゴケ、ムシゴケ、クロマメノキ、コバノエイランタイ、タカネキスミレ、タカネツメクサ、ミヤマコゴメグサ、ウサギギク、ミヤマコウゾリナ、ミヤマクワガタ、タカネミミナグサ、ヤマハハコ、シロウマスゲ、ミヤママツツムシソウ、テガタチドリ、シラタマノキ、ヨツバシオガマ、チシマニンジン、ミヤマキンボウゲ、ミヤマタネツケバナ、ハクサンフウロ、タカネトウヒレン。

△ 南尾根を下る。タカネツメクサ、チシマギキョウ、ミヤマコゴメグサ、ムカゴトラノオ、キングルマ、タカネミミナグサ、ミヤマコウゾリナ、クルマユリ、テガタチドリ、ミヤマキンボウゲ、ハクサンボウフウ、タイツリオウギ、イブキジャコウソウ、タカネスイバ、イワオウギ、ミヤマコウゾリナ、ミヤマトリカブト、タテヤマウツボグサ、ミヤマアワガエリ、ミヤマクロボシ、キジムシロ、ヒメクワガタ、タカネヒカゲノカズラ、ミヤマショウジョウスゲ、ミヤマネズ、オヤマリンドウ、イタドリ、ウスユキソウ、アカバナシラタマノキ。

△ この辺は大お花畑なり。チシマセンブリ、キバナノカワラマツバ、ウメバチソウ、タカネアオヤギソウ、シロウマアカバナ、ミヤマシシウド、ミヤマオトコヨモギ、ミヤママンネングサ、ノアザミ?、オオウシノケグサ、ミヤマトウキ、ヒメアカバナ、

エゾムカシヨモギ、ハクサンサイコ、コバノツメクサ、チョウカイゼリ?、クロクモソウ、ホソバツメクサ、ミヤマガラシ、エゾシオガマ、ミヤマハタザオ、タカネイバラ。

△ この辺より、高山のカル6ヶ所見ゆ。

△ 布引岳との間。ミヤマアワガエリ、タカネタンポポ、ハクサンイチゴツナギ、ミヤマクワガタ、シロウマアカバナ、ヒメミヤマナデシコ、タカネツメクサ、イワオウギ、タイツリオウギ、ハクサンフウロ、タカネスイバ、ウラシマツツジ、ムカゴトラノオ、ミヤマトウキ、コケモモ、タカネウラジロイタドリ、タカネミミナグサ、ウサギギク、ミヤマコウゾリナ、トウヤクリンドウ、ハクサンイチゲ、イワベンケイ、テガタチドリ、ハクサンチドリ、ヤマハハコ、ミヤマコウゾリナ、ミヤマクワガタ、ハクサンフウロ、ハクサンボウフウ、クルマユリ、ミヤマキンボウゲ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、ノアザミ?、キバナノカワラマツバ、タテヤマウツボグサ、イブキジャコウソウ、ウスユキソウ、タカネトウヒレン、ミヤマハンノキ、ハイマツ、ミヤマシシウド、チシマギキョウ、ミヤマホタルブクロ、ミヤマオトコヨモギ、キオン、エゾムカシヨモギ。

△ 布引岳に至る。ハクサンチドリ、ミヤマクワガタ、シラタマノキ、タカネマツツムシソウ、ミヤマコゴメグサ、ハクサンボウフウ、ミヤマヤナギ、ハクサンフウロ、トウヒレン、チングルマ、タカネウラジロイタドリ、エゾシオガマ、タカネツメクサ、タカネノイバラ、ミネノガリヤス?、イワベンケイ、ミヤマタンポポ、タカネニガナ、イワツメクサ、タテヤマウツボグサ、イワオウギ、コバイケイソウ、ハクサンチドリ、タカネヨモギ、ニガナ、ネバリノギラン、ミヤマハナヒリノキ、ミヤマシシウド、イワノガリヤス、トウヒレン、ヒトツバヨモギ、ヤマハハコ、メイゲツソウ、タカネアオヤギソウ、ミヤマキンボウゲ、ノアザミ?、オヤマリンドウ、タカネスイバ、アオノツガザクラ、ミヤマホツツジ、ヨツバシオガマ、イワカガミ、タカネナナカマド、ダケカンバ、ミヤマホタルブクロ、ミソガワソウ、チシマアザミ?、モミジカラマツ、オオバショリマ、ベニバナイチゴ、イワオトギリ、ノウゴイチゴ、ミヤマキンバイ、タテヤマキンバイ、チングルマ、タカネスイバ。

残雪あり。ウラジロナナカマド、ヒメイチゲ、ヒメスゲ、タカネヒカゲノカズラ、シナノキンバイ、ミツバオウレン、ミヤマメシダ、エゾノショウジョウバカマ。

△ 冷池付近。ミネカエデ、オオバスノキ、コヨウラクツツジ、チシマザサ、ハイマツ、クロツリバナ、オオヒョウタンボク、アオモリトドマツ、シロシャクナゲ、ミヤマクロボシ、ウサギギク、ミヤマキンバイ、オオバショリマ、ミヤマコウゾリナ、ホソバヒメイチゲ、ヒメクワガタ、ハクサンスゲ、ニガナ、コトンボソウ、チングルマ、チシマニンジン、ミヤマハナヒリノキ。

△ 大抜ケ上を通る。ダケカンバ、シラカンバ、ミヤマオトギリ、エゾノイブキトラノオ、トウヒ、オオバタケシマラン、マイヅルソウ、ハクサンスゲ、タケシマラン、シラネウラボ。

△ 冷池にて中食。池は灌木帯下部にあり。下限□□にあり。小池2, 3あり。水は二つにあり。相連続せり。地面上にありて皆船窪地形をなすこと、蝶ヶ岳、大滝山等と同様にして規模小なること海拔によるなるも、限界□□といえり。

ゴヨウイチゴ、フタバラン、コガネイチゴ、ゴゼンタチバナ、ナナカマド、トウヒ、アオモリトドマツ、コイチヨウラン、ツマトリソウ。

△ 大抜ケの径を爺ヶ岳にかかる。

(1)西股岳に上る。限界線あり。ウラジロニガイチゴ(有明のと同じ)、タカネウラジロイタドリ、ヤマハハコ、クロツリバナ、ミヤマハナヒリノキ、ミヤマホツツジ、チシマザサ、イブキゼリ、エゾシオガマ、オヤマリンドウ、タカネナナカマド、オオカメノキ、ミヤマオトギリ、チシマニンジン、ミヤマウラボ、イワノガリヤス、シロシャクナゲ、オオバスノキ、コケモモ、ナナカマド、ミヤマコウゾリナ、アオモリトドマツ、ミネカエデ、クロウスゴ、ヒメスゲ、ハナヒリノキ、ベニバナイチゴ、タケシマラン、ミツバオウレン、コガネイチゴ、ハイマツ。

△ ハイマツ帯にかかる。ナガバスノキ、コケモモ、ガンコウラン、ウラシマツツジ、ダケカンバ、クロマメノキ、タカネスミレ、コメバツガザクラ、トウヤクリンドウ、コメススキ、ヒロハノコメススキ、タカネイバラ、ミネノガリヤス、カライトソウ、チングルマ、コバイケイソウ、アキノキリンソウ、ウサギギク、ミヤマゼンゴ、ハクサンボウフウ、ホソバキシソドリ、ミヤマハナヒリノキ、イワカガミ、タカネヒカゲノカズラ、ミヤマコゴメグサ、ニガナ、ミヤマコウゾリナ、ミネカエデ、エゾショウジョウバカマ、ナガバスノキ、ヒメイチゲ、クロマメノキ、マイヅルソウ、タカネトウヒレン、ミヤマクワガタ、ミヤマホタルブクロ、タテヤマウツボグサ、キジム

シロ、ミヤマアザミ、ノウゴイチゴ、イブキジャコウソウ、タカネニガナ、ヤマブキショウマ、ヒトツバヨモギ、カラマツソウ、ミヤマオトコヨモギ、ツガザクラ、ミヤマトウキ、フキ、ミヤマカンスゲ、ミヤマダイコンソウ、ヨツバシオガマ。

△ 登る。横通岳から側の鞍部なり。ハイマツ、クルマユリ、ミヤマトリカブト、ミヤマシシウド、ハクサンフウロ、タカネスイバ、オオヒョウタンボク、タカネザクラ、ハリブキ、テガタチドリ、ヒメクワガタ、ミヤマキンボウゲ。

△ イワツバメ群翔す。

△ 爺ヶ岳の3岳ともに越中側は、幅広きハイマツ林を以て、封じられると言っても可なり。各頂所々に少し許りの礫野あり。信州側は凡そ大断崖にして、ガレ所々多く植物はなく、種類も少くなし。シラネアオイ(下にありと)、ミヤマキンボウゲ、ミヤマホタルブクロ。

△ 熊に会う。タケガラス、イワツバメ。

△ 頂上のお花畑。タカネウラジロイタドリ、コケモモ、シラタマノキ、ミソガワソウ、ヤマブキショウマ、ベニバナイチゴ、タカネスイバ、アキノキリンソウ、タカネヨモギ、ウスユキソウ、ミヤマホツツジ、ヤマハハコ、ミヤマオトコヨモギ、ヒゲノガリヤス?、トウヒレン、チシマギキョウ、ツガザクラ、アオノツガザクラ、ミヤマダイコンソウ、オオバショリマ、ハクサンボウフウ、ミヤマトリカブト、ミヤマハンノキ、コメススキ、ミヤマアザミ、エゾシオガマ、シナノキンバイ、アラシグサ、ミヤマキンボウゲ、ハクサンチドリ、ネバリノギラン、ウサギギク、ショウジョウスゲ、ミヤマキンバイ、エゾショウジョウバカマ、ミヤマタンポポ、クロクモソウ、ハクサンフウロ、シロウマアカバナ、キバナノコマノツメ、コバナツメクサ、ヨツバシオガマ、キジムシロ、ミヤマトリカブト、クルマユリ、ハナウド、ナツユキソウ、ヒメクワガタ、ゴゼンタチバナ、ミヤマメシダ、ミヤマコウゾリナ、ミヤマコゴメグサ。

△ 中岳にかかる。イワスゲ、ウシノケグサ、タカネミミナグサ、タカネスイバ、ミヤマタンポポ、クモマスズメノヒエ、シロウマアカバナ、ミヤマアカバナ、ミヤマホタルブクロ、ミヤマクワガタ、ウスユキソウ、エゾシオガマ、ミヤマゼンゴ、ヒメアカバナ、ミヤマキンボウゲ、ミヤマオトコヨモギ、イワニガナ、ハクサンフウロ、フギレタカネミミナグサ、ミヤマコウゾリナ、クロクモソウ。

(続く)